

景気動向指数  
平成 23 年 7 月分（速報）の概要

7月のC I（速報値・平成17年=100）は、先行指数：106.0、一致指数：109.0、遅行指数：90.0となった。（注）

先行指数は、前月と比較して2.7ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。3ヶ月後方移動平均は3.30ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.84ポイント上昇し、3ヶ月連続の上昇となった。

一致指数は、前月と比較して0.3ポイント下降し、4ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は1.70ポイント上昇し、2ヶ月連続の上昇、7ヶ月後方移動平均は0.64ポイント上昇し、24ヶ月連続の上昇となった。

遅行指数は、前月と比較して0.6ポイント下降し、2ヶ月振りの下降となった。3ヶ月後方移動平均は0.33ポイント下降し、6ヶ月振りの下降、7ヶ月後方移動平均は0.16ポイント上昇し、19ヶ月連続の上昇となった。

一致指数の基調判断

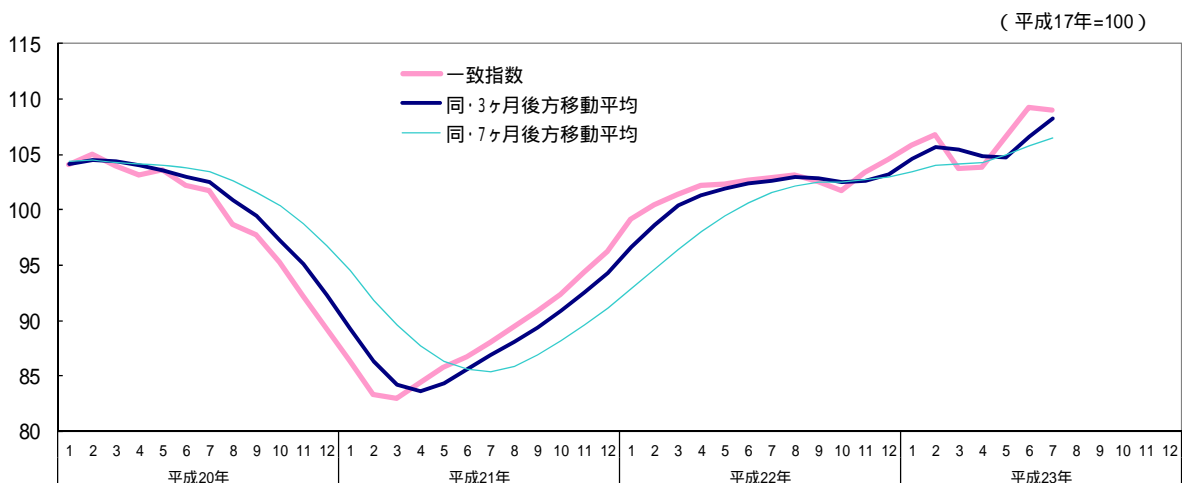
景気動向指数（C I一致指数）は、改善を示している。

一致指数の前月差に対する個別系列の寄与度は以下の通り。

寄与度がプラスの系列	寄与度	寄与度がマイナスの系列	寄与度
C11：有効求人倍率(除学卒)	0.19	C10：中小企業売上高(製造業)	-0.20
C1：生産指数(鉱工業)	0.07	C3：大口電力使用量	-0.12
		C5：所定外労働時間指数(製造業)	-0.12
		C6：投資財出荷指数(除輸送機械)	-0.06
		C7：商業販売額(小売業)(前年同月比)	-0.05
		C8：商業販売額(卸売業)(前年同月比)	-0.04
		C2：鉱工業生産財出荷指数	-0.01
C4：稼働率指数(製造業)	0.01		
C9：営業利益(全産業)	0.01		

「C4 稼働率指数」、「C9 営業利益」は現時点では算出に含まれていないため、トレンド成分を通じた寄与のみとなる。なお、各個別系列のウェイトは均等である。

一致指数の推移



（注）現時点で得られる値のみで求めた。